

D-12 アメリカにおける家庭管理の中の“決断” の概念についての一考察

薫英女短大家政 丸島 令子

1. わが国において、家庭管理が今日どのような基本的概念をもち、その中心的研究課題がなんであるかを簡潔に指摘することは容易ではないように思われる。アメリカにおいても、家庭管理が学問としての体系づけを確立すべく永年にわたり努力が払われてきた結果、近年家庭管理の基本的諸概念の確立が打ちたてられたようである。

本論文は、アメリカの家庭管理学上 (Home Management)、最も重要な基本的概念であり、かつ中心的研究課題であるとみなされている“決断” (decision-making) について、実際にこの概念が、家庭管理学上、いかにとり扱われているかを、いくつかの資料および研究者自身の留学経験から考察検討することを目的とする。

2・3. 方法として、1)最近米国の諸大学で最も多く採用されているテキストの中で、決断がどのように記述されているかについて。2)ミシガン州立大学 (研究者自身の留学先) において、決断がどのような方法で、講義されているかについて。3)家庭管理が決断の概念を採用することによって、どのような意義(成果)があるかについて。